

オルカヤック コースト XT

ORUKAYAK COAST XT

この度はお買いあげいただき、誠にありがとうございます。この取扱説明書（以下「本説明書」といいます）は本製品の正しい取扱方法を説明しています。ご使用前に本説明書をよくお読みいただき、正しい使用方法をご確認ください。

ただし、本説明書は本製品の基本的な使用方法を示すものでありカヌー（パドルスポーツ）の操作方法などを解説するものではありません。正しい使用方法を資格のあるインストラクターのもとで習得し、安全な条件のもとで十分な練習を行ってください。

なお、ご不明な点等ございましたら、販売店もしくは（株）モンベル カスタマー・サービスまでお問い合わせください。本説明書は大切に保管してください。

■ 特長

オルカヤックは日本伝統の「折り紙」からアイデアを得て、シンプルで直感的に組み立てられるようデザインされました。いくつかの簡単な手順で、コンパクトな箱から美しく、丈夫で、洗練されたカヤックに早変わりします。

■ 安全上の注意 必ずお読みください

危険 人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容です。

- カヌー（パドルスポーツ）は場合によっては使用者や周囲の人を危険に陥れたり、死傷事故を誘発する可能性のあるスポーツです。本製品またはそれに係わる製品を使用する方は、傷害を負ったり、死亡する場合もあり得ることを理解しておかなければなりません。また、事故を防止するためにも、本製品を使用する前には必ず本説明書を熟読し、その指示に従ってください。
- 本製品は製品の特性上、本体に強い負担がかかるような激しい使用方法には適しません。
- 本製品は、鋭利な岩に当たり本体に強い衝撃を与えると破損します。このような行為は絶対に行わないでください。
- 風が強かったり波が高いときは使用しないでください。
- 沿岸では潮の干満や潮流のはやさも十分に考慮してください。湖、大河、沿岸等で使用する際、気象の変化により、思いもよらぬ突風、強風が吹く場合があります。人力に頼っている本製品の特性をよく理解し、無理せず安全にお使いください。
- 飲酒や心身に影響を及ぼす薬品・薬物を使用して本製品を使用しないでください。傷害を負ったり、事故の恐れがあります。
- 必ず、ライフジャケット（救命胴衣、フローティングベスト）を着用してください。
- 救急処置法と救急訓練を常に心掛け、それに必要な救急箱・救急道具等を携帯してください。
- 水かさが増している時など悪条件下では本製品を使用しないでください。
- 自分の能力以上の行動は慎んでください。

警告 場合により人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
軽傷または物的損害が発生する頻度が高いことが想定される内容です。

- 本説明書にある組み立ての方法に従ってください。本製品は正しく組み立てられていないと、本来の構造的な強度を失い破損する恐れがあります。
- 乗艇、脱艇の妨げになるような改造、艀装はしないでください。転覆の際の脱出を妨げる恐れがあります。本製品に取り付けできるものは、互換性のあるものだけです。
- 荷物を積む際はコックピット（出入り口）を塞がないようにしてください。転覆の際の脱出を妨げる恐れがあります。
- 本製品の底が当たるような浅瀬や操作しきれずに岩等に激突するような急流では使用しないでください。破損する恐れがあり危険です。
- 本製品を使用する際は別売の浮力体（フローテーションバック）を使用してください。転覆の際に艇への水の浸入を最小限に抑えることができます。（本製品に浮力はありません。）
- 本製品を使用する際に、岩などがあるところではウオータースポーツ用ヘルメット、グローブ、ウオーターシューズなどの保護するものを着用してください。着用しない場合、傷害を負う恐れがあります。
- 安全な場所で操作方法を十分に練習してから使用してください。操作に不慣れだと傷害を負ったり、事故の恐れがあります。
- 本製品は穏やかに流れている場所で使用できますが、流れが急な場所では使用しないでください。
- 本製品はレジャー用です。救命ボートとしては使用しないでください。
- 泳げない方は絶対に使用しないでください。
- しけの場合は、水流や渦の発生、障害物などの危険性が加わります。また、行ったことのないエリアでは必ず経験豊富なガイドと一緒に行動してください。
- 本製品の最大積載量を超えて使用しないでください。本来の性能を發揮できない恐れがあります。
- お子さまがご使用になる際は、保護者の方が本説明書をよくお読みになり、お子さまが理解できるように説明し、使用方法を理解したかどうかを確認のうえ、必ず保護者の監視下でご使用ください。お子さま同士や、一人だけの使用は絶対にしないでください。
- 本製品は水上で使用する目的で作られています。その他の目的（雪上など）では使用しないでください。傷害を負ったり、事故、破損の恐れがあります。
- 本製品は定員を守って使用してください。定員以上で乗ると傷害を負ったり、事故、破損の恐れがあります。
- 本製品は安全が確保された場所で使用してください。傷害を負ったり、事故、破損の恐れがあります。
- 本製品を原動機付きの乗り物で牽引しないでください。傷害を負ったり、事故、破損の恐れがあります。
- 本製品の改造はしないでください。乗艇・脱艇の妨げになる様な改造・艀装・積載をさけてください。傷害を負ったり、事故、破損の恐れがあります。
- 本製品を使用する前に本製品に合わせた講習を受けてください。
- 一人でカヌー（パドルスポーツ）を行わないでください。
- 水温・気温が低い場合は天候に合わせた服装をしてください。身体を濡らしたまま放置した場合、危険な低体温症になる恐れがあります。
- 毎回使用前に本製品を点検し、摩耗や破損の予兆がない事を確認してください。
- 見知らぬ場所、不確かな場合は事前に調査してください。
- 健康に問題のある方は、本製品の使用を始める前に医師にご相談ください。
- 本製品に荷物を積む場合は、艇の安定、操作性が損なわれない程度の量とバランスをよく考えて積んでください。静水時にデッキが水没する程積載するのは危険です。おやめください。
- 運搬時以外に本製品のハンドル（持ち手）に手や足を入れないでください。傷害を負ったり、事故、破損の恐れがあります。
- 本製品の下で泳がないでください。傷害を負ったり、事故、破損の恐れがあります。
- 本製品から水中にジャンプしたり飛び込んだりしないでください。傷害を負ったり、事故、破損の恐れがあります。
- 本製品の所有者は本説明書をよく読み、全ての使用者に対して本製品の安全な操作方法について責任を持って指示してください。

注意 人が傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容です。

- 正しいお手入れ方法、保管方法を守ってください。
- 組み立ての際に指などを挟まないようにご注意ください。
- 組み立ての際は、けがをしないようにご注意ください。本製品は一部鋭利な部分があります。
- 本製品は素材の特性上、折り跡が白化することがありますが性能上問題はありません。
- 艇内に水が入った際は、そのまま持ち上げて排水しないでください。水の重さで本体が破損する恐れがあります。本製品の片面を水面、または地面に置き、少しずつ傾けながら排水します。また荷物が積載された状態で持ち上げると、破損する恐れがありますのでご注意ください。
- 重い荷物はデッキの上に積まないようにしてください。艇の重心が高くなり転覆しやすくなります。
- テンションストラップに物を固定しないでください。沈脱できない恐れがあります。
- 本製品は持ち上げて運んでください。底を引きずると破損する恐れがあります。
- 本製品を車やトレーラーの屋根に載せて運ばないでください。車の中に入れて運搬してください。
- 付属のショルダーストラップで長時間の運搬はしないでください。肩や背中が疲労する恐れがあります。
- 本製品はレクリエーション用であり、防水用の隔壁がありません。転覆の際は本製品全体が浸水し、沈むことがあります。
- 本製品は可能な限り、水面に浮いた状態で乗り込んでください。浜辺に上陸、または浜辺から入水する必要がある場合は、底の磨耗を最小限にするために滑らかな砂か泥の場所を選んでください。
- 本製品を鋭利なもので引っ掻いたり、鋭利な物の上で引きずったりしないでください。破損する恐れがあります。
- 氷点下(0°C以下)で本製品を使用したり折り畳まないでください。氷点下ではカヤック本体のプラスチックが脆くなり破損する恐れがあります。
- 本製品を高温になる所や火のそばに近づけないでください。変形や破損する恐れがあります。

使用前の点検 使用にあたっては、毎回必ず次のことを確かめてください。異常が見られた場合は使用しないでください。

- カヤック本体に破損などがないか
- テープやバックルに破損や変形がないか
- ネジやバックルにゆるみがないか

■ 使用方法

- P4 からの組み立て方法をご覧ください。

お手入れ方法 間違ったお手入れ方法や保管方法は本製品の寿命を縮めます。使用後や保管時は以下の点を参考にしてください。

- 使用後は水洗いをして泥などを落として完全に乾燥させてください。特に海水で使用した後は、清潔な水で本製品を洗ってください。
- カヤック本体に使われているプラスチックのひだの内部に水が溜まる場合があります。排水するには組み立てた本製品を5分から10分の間、垂直に立てかけてください。
- 汚れがひどい時は中性洗剤と研磨剤の入っていない布カスポンジで洗ってください。
- 重大な破損や穴がある場合は使用を中止し、販売店もしくは(株)モンベル カスタマー・サービスまでお問い合わせください。

■ 保管方法

- 直射日光の当たらない風通しの良い場所で保管してください。直射日光はプラスチックの褪色や脆化を促します。
- 火のそばや暖房器具のそばなどの高温になる所に置かないでください。変形、破損する恐れがあります。

■ 廃棄方法

- 廃棄方法はお住まいの自治体の収集方法に従ってください。

■ アフターサービス

お買い求めいただきました本製品は万全を期して製造しておりますが、万一不備な点がございましたら、お買い求めいただいた販売店、もしくは下記の弊社窓口までご連絡ください。

製造上の欠陥による不具合の場合は無償で交換させていただきます。なお、修理、交換等の要否につきましては、弊社の裁量にて判断させていただきます。

なお、以下のような原因での破損、不良につきましては保証いたしませんのでご了承ください。

- 本製品の誤った使用方法によるもの
- 間違ったお手入れ、保管方法、経年変化による素材劣化
- 乱暴な取り扱いによるもの
- その他、製造上の欠陥以外の原因によるもの

破損時は弊社にて診断をして、修理が可能な場合はご要望により有償にて修理させていただきます。

■ 仕様・サイズ

品番：#1843015
品名：オルカヤック コースト XT
素材：カヤック本体・デッキ：5mm 二層ポリプロピレン(紫外線抑止加工)
シート・バルクヘッド：10mm 二層ポリプロピレン
トリム(縁部分)・構造用部品：ABS樹脂
ガスケット・フェアリング：EPDM(エチレン・プロピレン・ジエンゴム)、クロロプレンゴム
留め具：ナイロン、ステンレス鋼

サイズ：全長:488cm 最大幅:64cm コックピットサイズ(縦×横):76×41cm

収納サイズ：84cm×31cm×74cm

本体重量：15.42kg

定員：1名

最大積載量：181kg(パドラー含む)

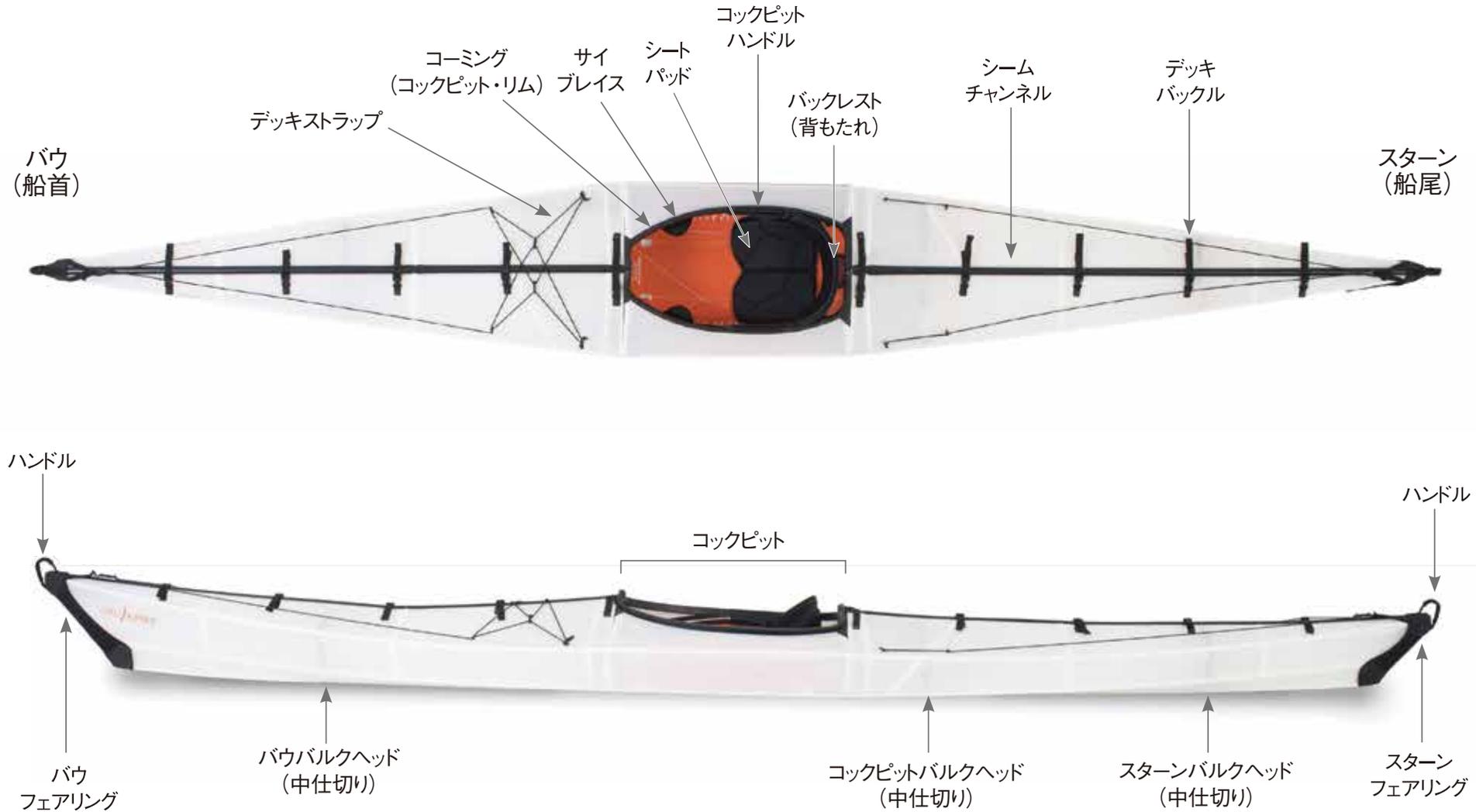
■ その他

本製品の仕様、デザインは予告なく変更されることがあります。また、重量などのスペックには誤差が生じる場合があります。

株式会社 **モンベル** 本社 〒550-0013 大阪市西区新町 2-2-2 Tel. 06-6531-3544 フリーコール：☎ 0088-22-0031
商品についてのお問い合わせはカスタマー・サービスまで モンベルホームページ <http://www.montbell.jp>

07-608-1802

■ 各部の名称

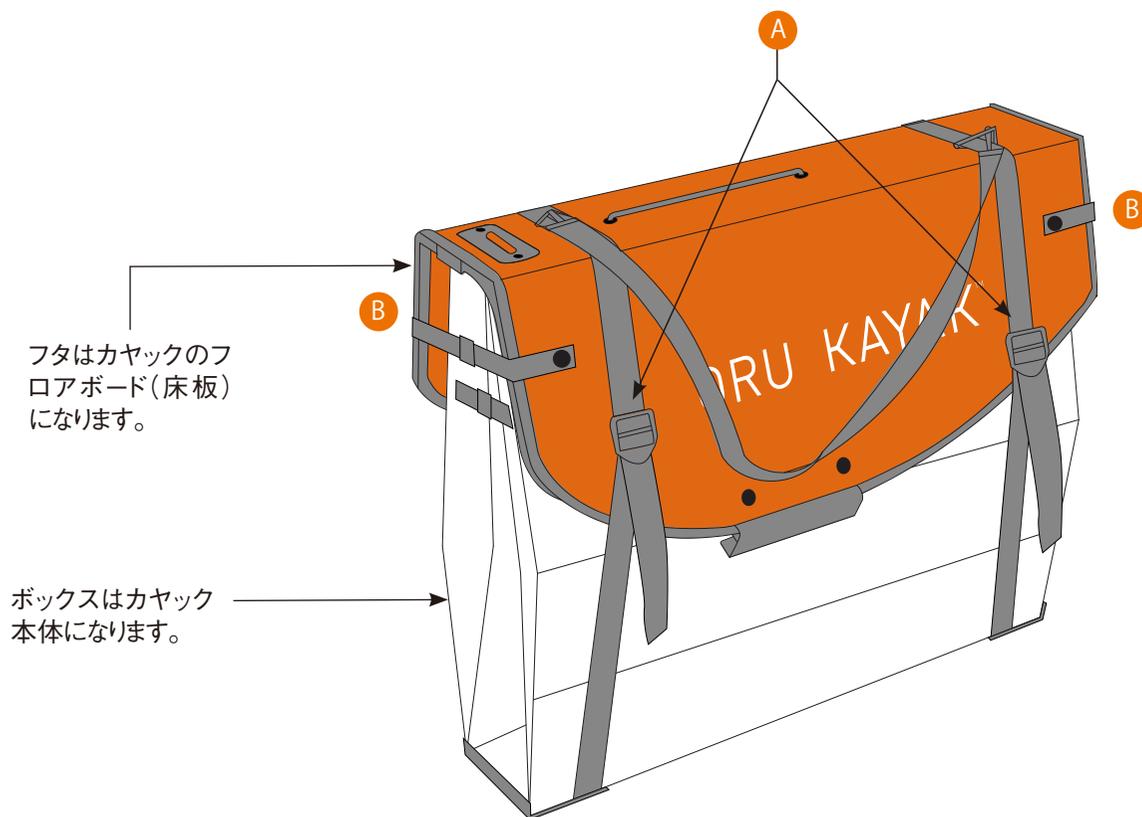


■ 組み立て方法

○組み立て方法に従ってください。本製品は正しく組み立てられていないと、本来の構造的な強度を失い破損します。

(1) ボックスを開ける

ボックスには、組み立てに必要なパーツが全て含まれています。



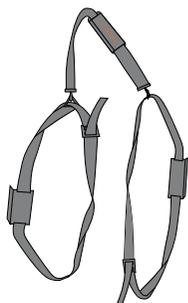
A ボックス両サイドに巻かれている2本のストラップを緩めて、ショルダーストラップをボックスから外します。カヤックをする際にはこのストラップは不要です。本体を収納するときにストラップが必要になります。

B オレンジのフタの両側面にある2箇所のバックルを外し、フタを持ち上げます。

C ボックスの中のカヤックパーツを取り出します。P5のパーツリストを参照の上、パーツが揃っているか確認してください。いくつかのパーツはあらかじめカヤック本体に取り付けられています。

パーツリスト

- 1 ショルダーストラップ
カヤックがボックス状に梱包されている際に使用する持ち運び用ストラップです。カヤック中は使用しませんのでバックレスト(背もたれ)のうしろに収納してください。
- 2 シームチャンネル(4本)
デッキを組み合わせた箇所を密封するために使用します。
- 3 コックピットバルクヘッド(大)
コックピットに剛性を持たせます。
- 4 船尾バルクヘッド(小)
カヤック後方の剛性を高めるために使用します。
- 5 バックレスト(背もたれ)
腰のサポートとカヤック本体の剛性を高めるために使用します。
- 6 シートパッド
フロアボードのショックコードの下に挟んで使用します。
- 7 予備パーツ
修理・交換用のねじ、ナットです。



1
ショルダー
ストラップ



2
シーム
チャンネル
(4本)



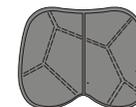
3
コックピット
バルクヘッド(大)



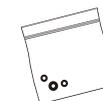
4
スターンバルクヘッド
(小)



5
バックレスト
(背もたれ)



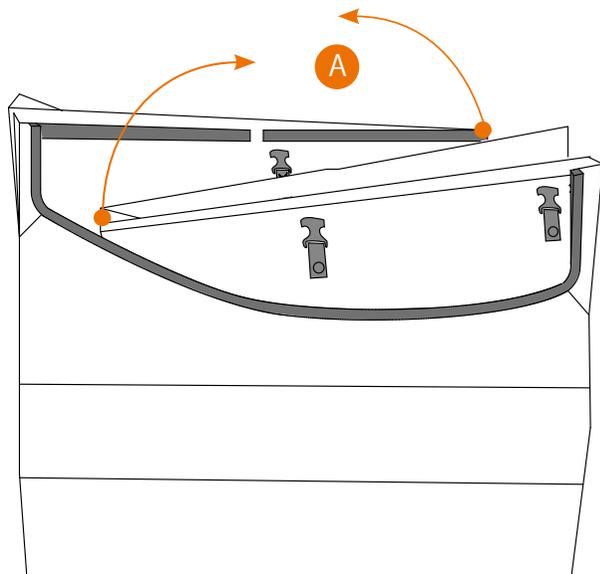
6
シートパッド



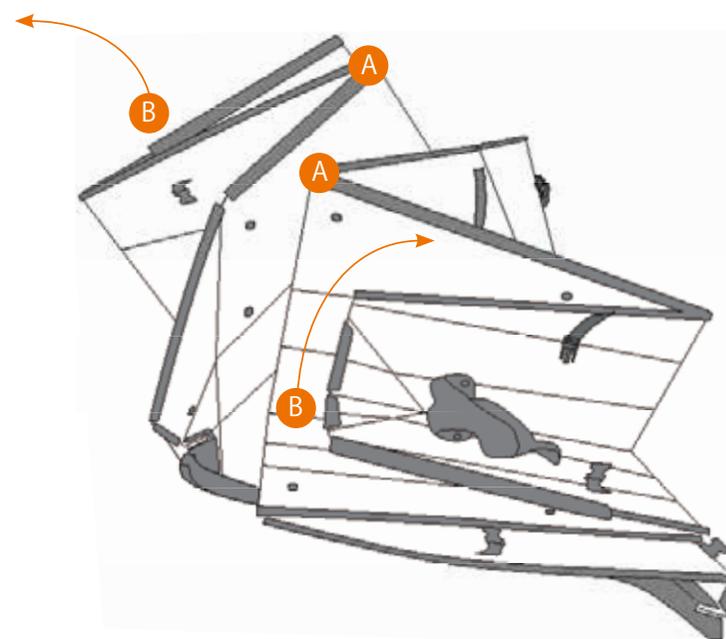
7
予備パーツ

(2)ボックス(カヤック本体)を広げる

※組み立てまたは収納の際に便利な、色付きステッカーが目印として付いています。



- A** オレンジ色のステッカーが貼ってある2箇所を折り目を持ちます。上の図のように引っ張り開きます。

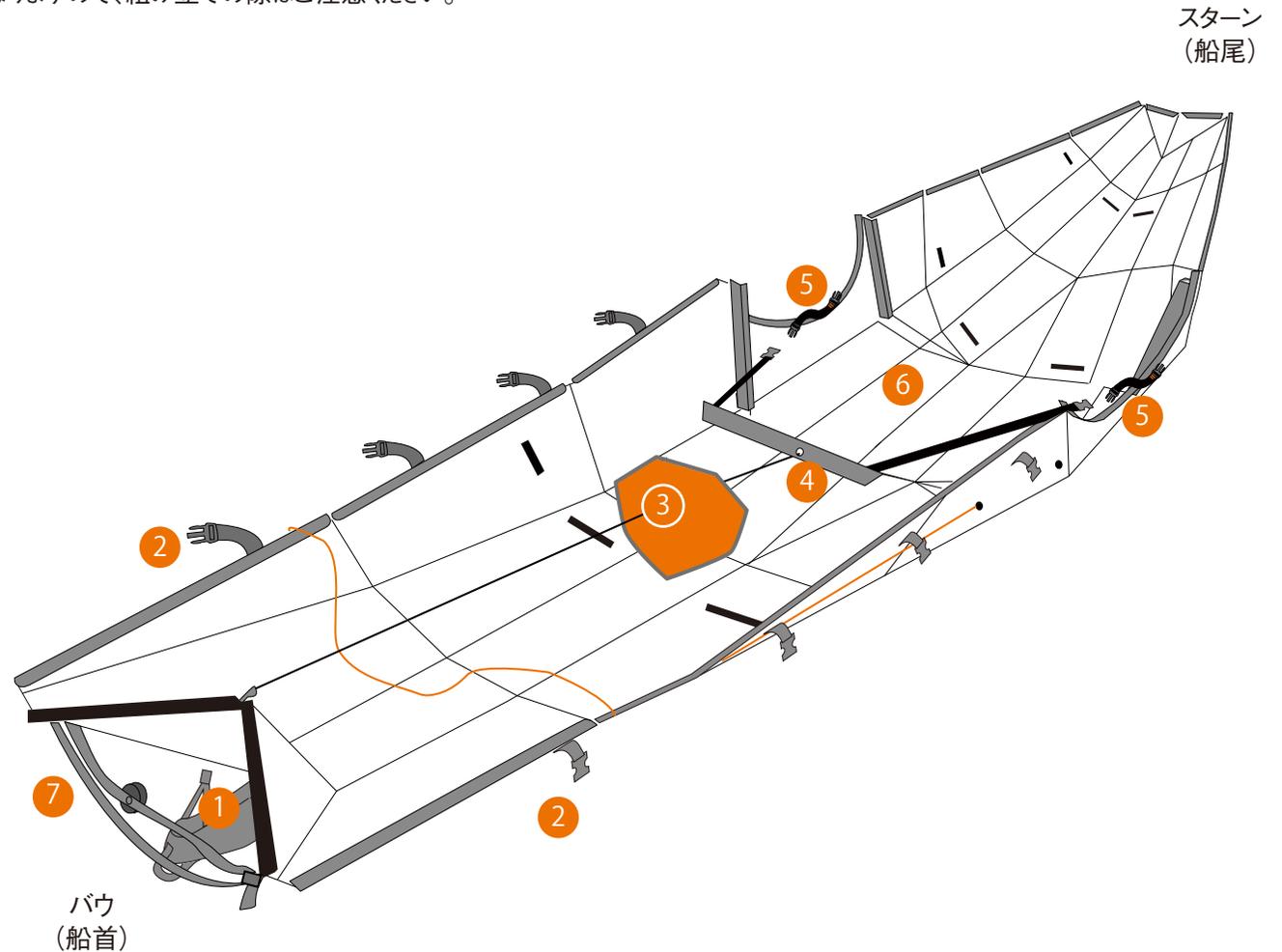


- B** 両端を広げて箱状のものを一枚の長いシート状にします。カヤック本体の折れ曲がっている箇所を手で押し平らにしながら広げてください。

パーツを確認する

パーツ: カヤック本体
ボックスがカヤック本体になっています。いくつかのパーツはあらかじめカヤック本体に取り付けられています。
カヤックのバウ(船首)とスターン(船尾)は形状が異なりますので、組み立ての際はご注意ください。

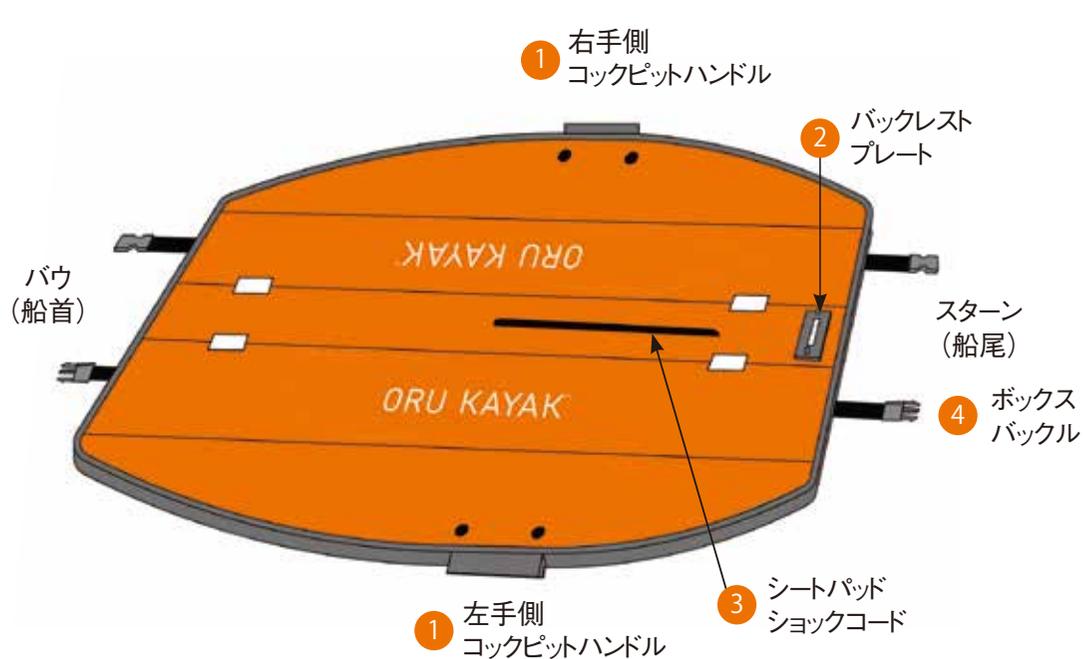
- 1 フェアリング
バウ(船首)とスターン(船尾)を閉じ、カヤックを持ち運ぶためのハンドルになります。組み立てた本製品を移動させるのに便利なグラブループも付いています。
- 2 デッキバックル
10個のバックルでデッキを閉じます。
- 3 バウ(船首)バルクヘッド
構造剛性を備えるものです。
- 4 アジャスタブル フットレスト
フットレストを快適な位置に調整することで足の踏ん張りがきき、パドルリングが楽になります。
- 5 コーミング
標準的なスプレースカートを取り付けることができます。
- 6 デッキライン
レスキューや再乗艇の際に掴んで使用します。(本説明書ではオレンジ色で示してありますが実物は黒色です。)
- 7 エンドストラップで
エンドストラップはバウ(船首)とスターン(船尾)をしっかり閉じます。



パーツを確認する

パーツ：フロアボード

ボックスのフタが、本製品のフロアボードになります。フロアボードは本製品の組み立てにおいて極めて重要な部分になります。コックピットの中のコーミングに取り付け、シートパッドとバックレストを固定します。



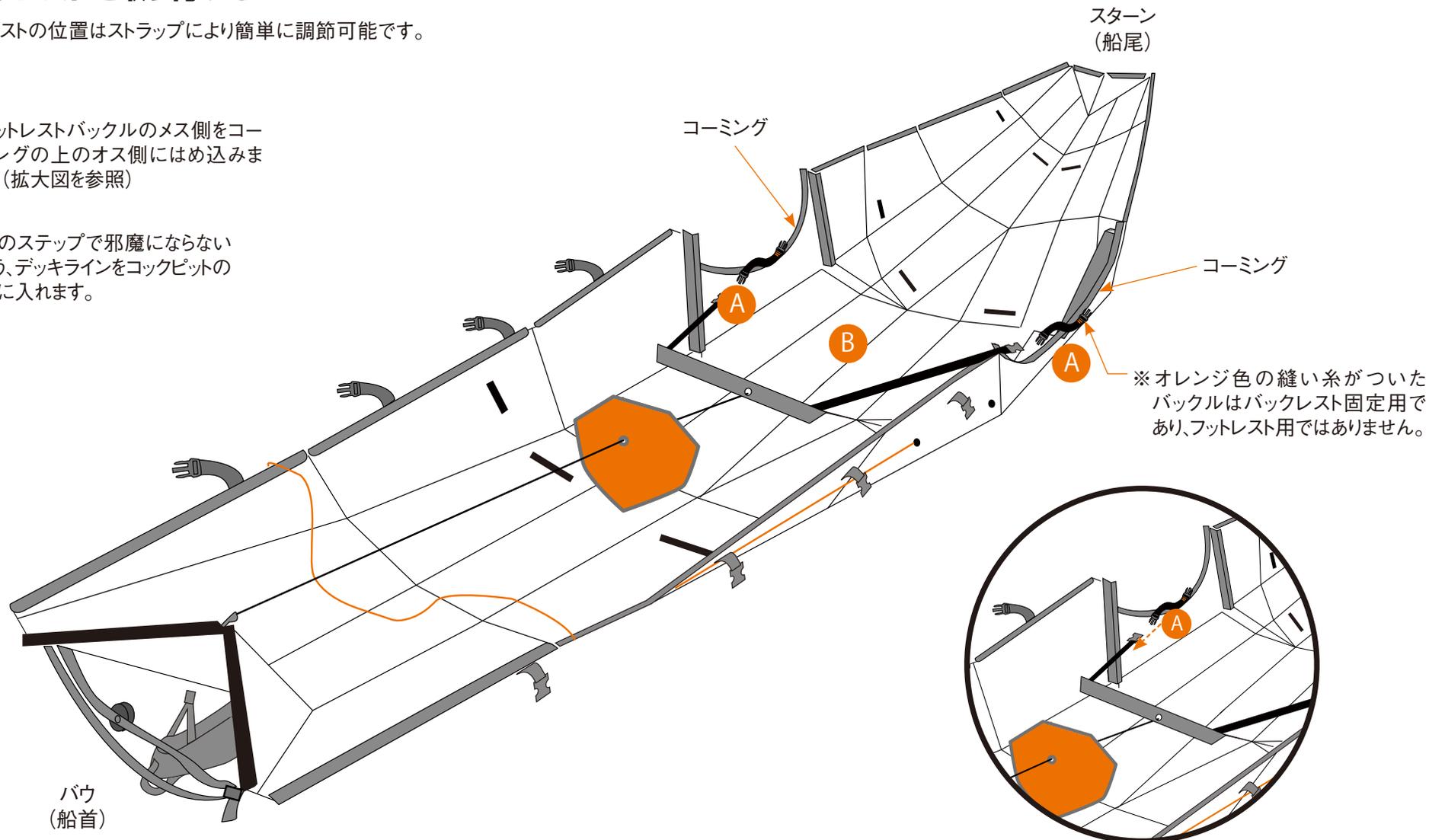
- 1 コックピットハンドル
コーミングにはめ込みます。
カヤックから出入りする際の手の置き場になります。
- 2 バックレストプレート
バックレストを固定します。
(P15 参照)
- 3 シートパッドショックコード
シートパッドはフロアボード中央にあるショックコードの下に挟みます。
(P16 参照)
- 4 ボックスバックル
収納の際に使用します。
カヤック使用時には使いません。

(3) フットレストを取り付ける

フットレストの位置はストラップにより簡単に調節可能です。

A フットレストバックルのメス側をコーミングの上のオス側にはめ込みます。(拡大図を参照)

B 次のステップで邪魔にならないよう、デッキラインをコックピットの中に入れます。



<拡大図>
両側のコックピットのバックルを締めます。

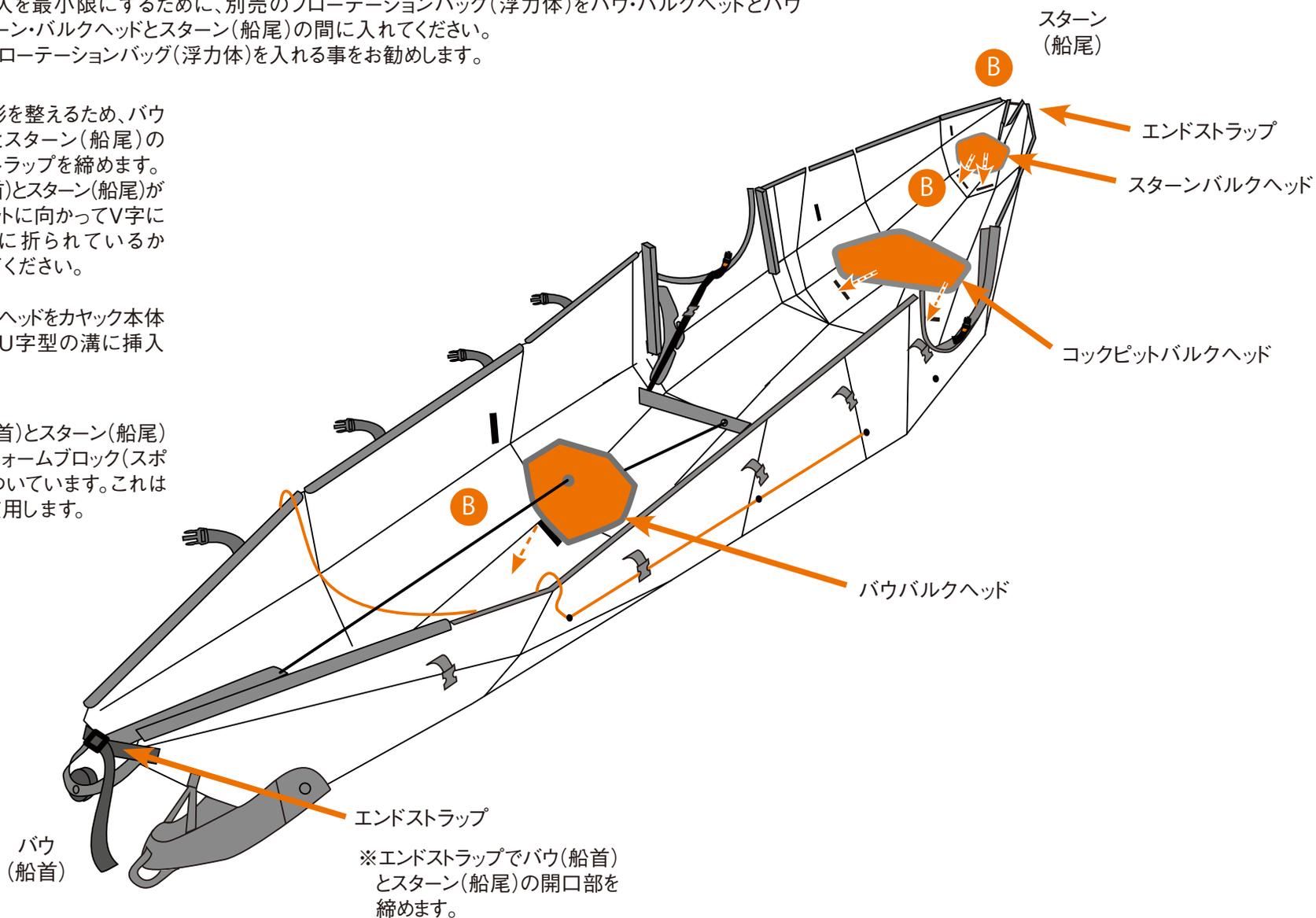
(4) エンドストラップをしめ、バルクヘッドを取り付ける

バルクヘッドによって、本製品に構造剛性が備わりますが、隔壁としての防水性はありません。沈の際に水の浸入を最小限にするために、別売のフローテーションバッグ(浮力体)をバウ・バルクヘッドとバウ(船首)の間、スターン・バルクヘッドとスターン(船尾)の間に入れてください。
※安全のためにフローテーションバッグ(浮力体)を入れる事をお勧めします。

A 船体の形を整えるため、バウ(船首)とスターン(船尾)のエンドストラップを締めます。バウ(船首)とスターン(船尾)がコックピットに向かってV字になるように折られているか確認してください。

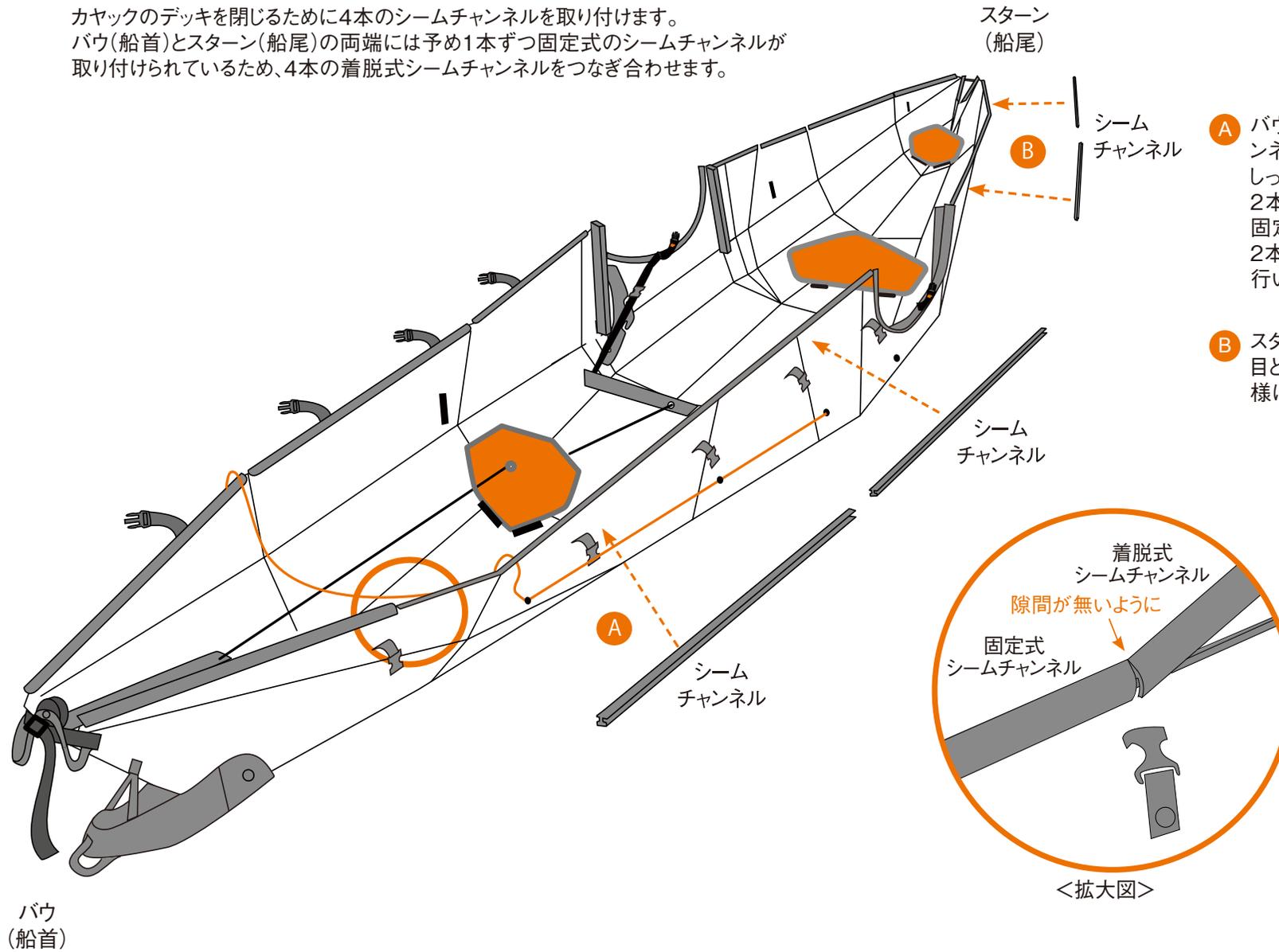
B 各バルクヘッドをカヤック本体フロアのU字型の溝に挿入します。

※バウ(船首)とスターン(船尾)の先にフォームブロック(スポンジ)がついています。これはP16で使用します。



(5) シームチャンネルを取り付ける

カヤックのデッキを閉じるために4本のシームチャンネルを取り付けます。
バウ(船首)とスターン(船尾)の両端には予め1本ずつ固定式のシームチャンネルが
取り付けられているため、4本の着脱式シームチャンネルをつなぎ合わせます。



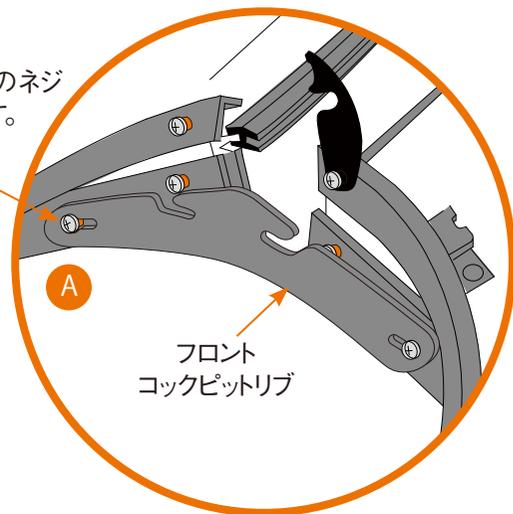
- A バウ(船首)側の固定式シームチャンネルと着脱式シームチャンネルをしっかりつなぎます。
2本の継ぎ目に隙間が無いように固定します。(拡大図参照)
2本目のシームチャンネルも同様に行います。
- B スターン(船尾)側に取り付ける3本目と4本目のシームチャンネルも同様に行います。

(6)コックピットを閉じる

このステップで、カヤックの基本的な形が組まれます。

<拡大図>

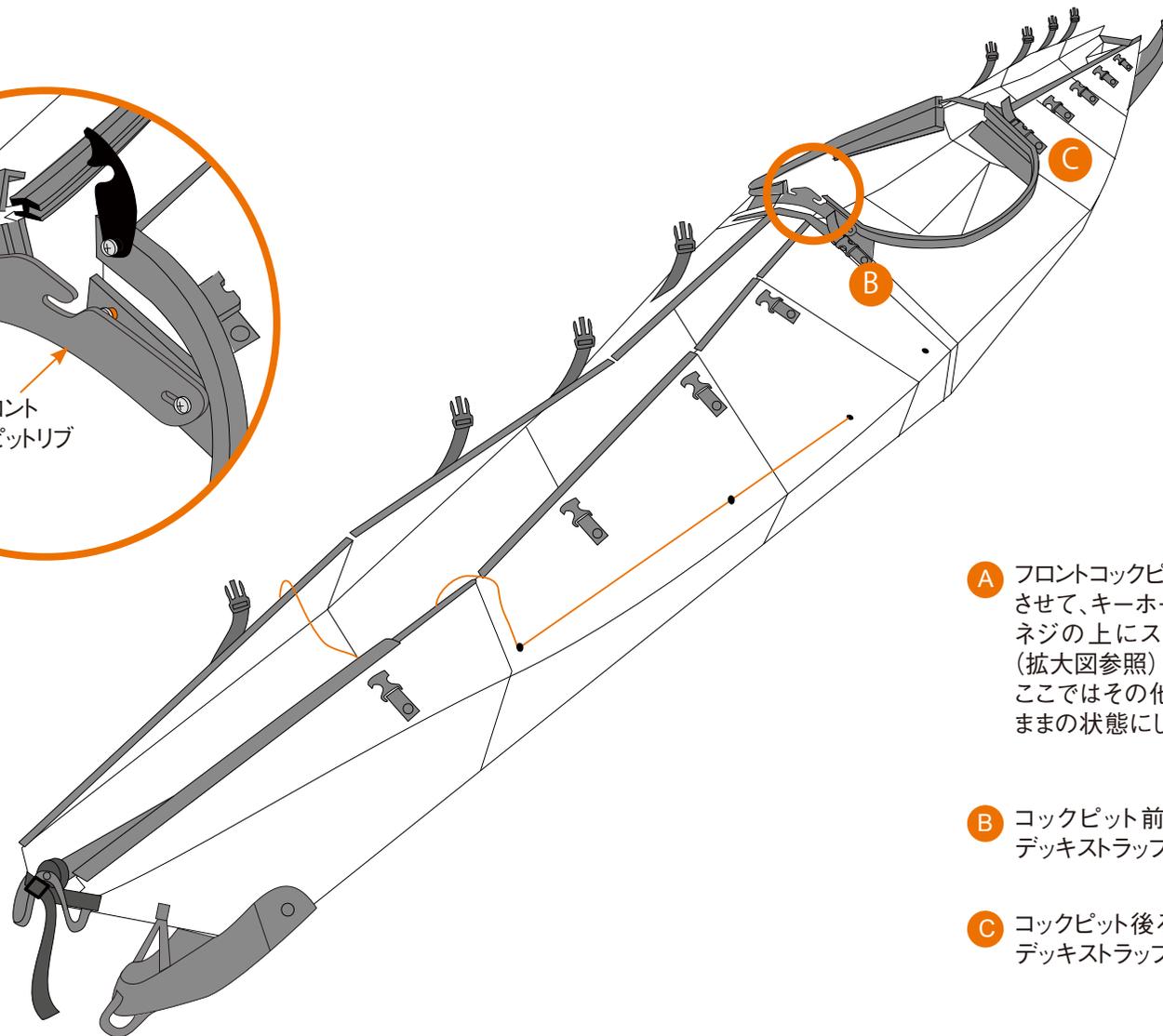
キーホールを一番端のネジの上にスライドさせます。



フロント
コックピットリブ

バウ
(船首)

スターン
(船尾)



A フロントコックピットのリブを回転させて、キーホールを一番端のネジの上にスライドさせます。
(拡大図参照)
ここではその他のネジは、そのままの状態にしておきます。

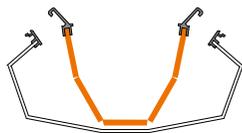
B コックピット前側の一つ目のデッキストラップを留めます。

C コックピット後ろ側の一つ目のデッキストラップを留めます。

(7)フロアボードを取り付ける

フロアボードのハンドルをコーミング(コックピット・リム)に取り付け、フロアボードを固定します。

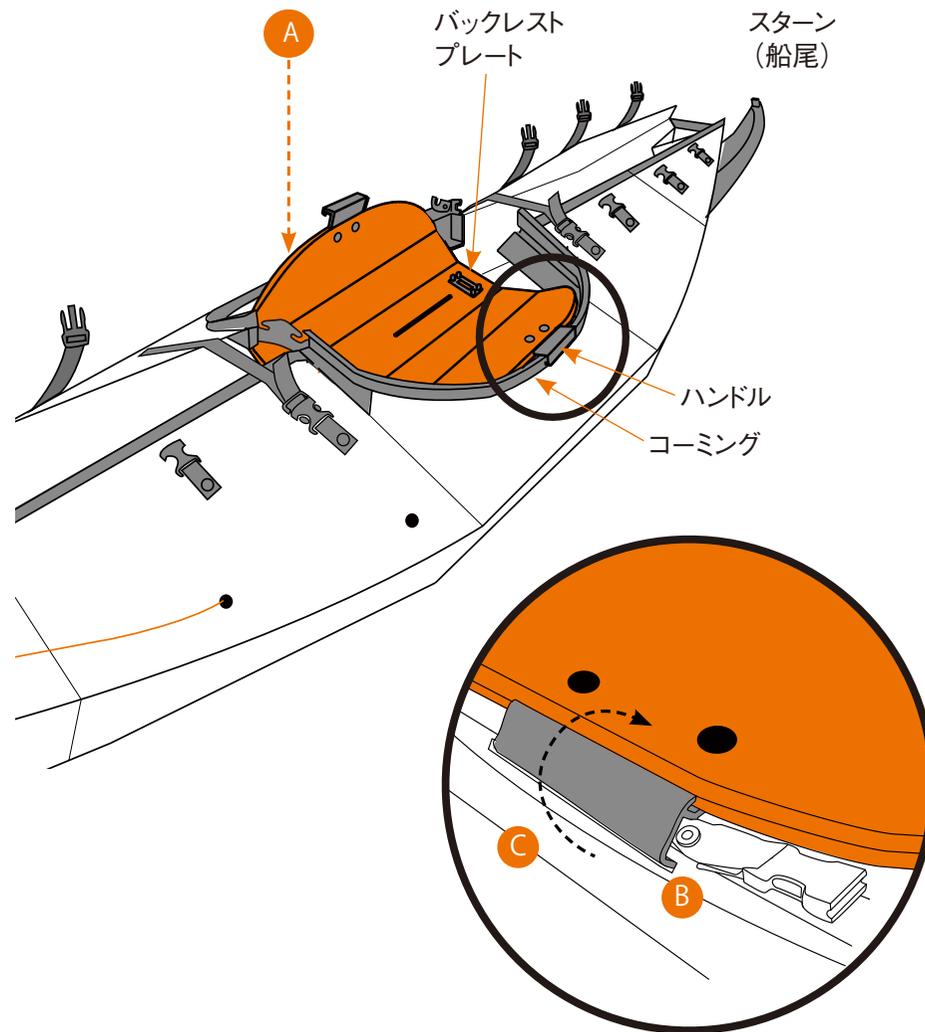
- A** フロアボードをU字型にして、コックピットに入れます。バックレストプレートはカヤックのスターン(船尾)側にきます。



- B** フロアボードの中央を折り上げ、W字型にしてハンドルをコーミングに合わせます。



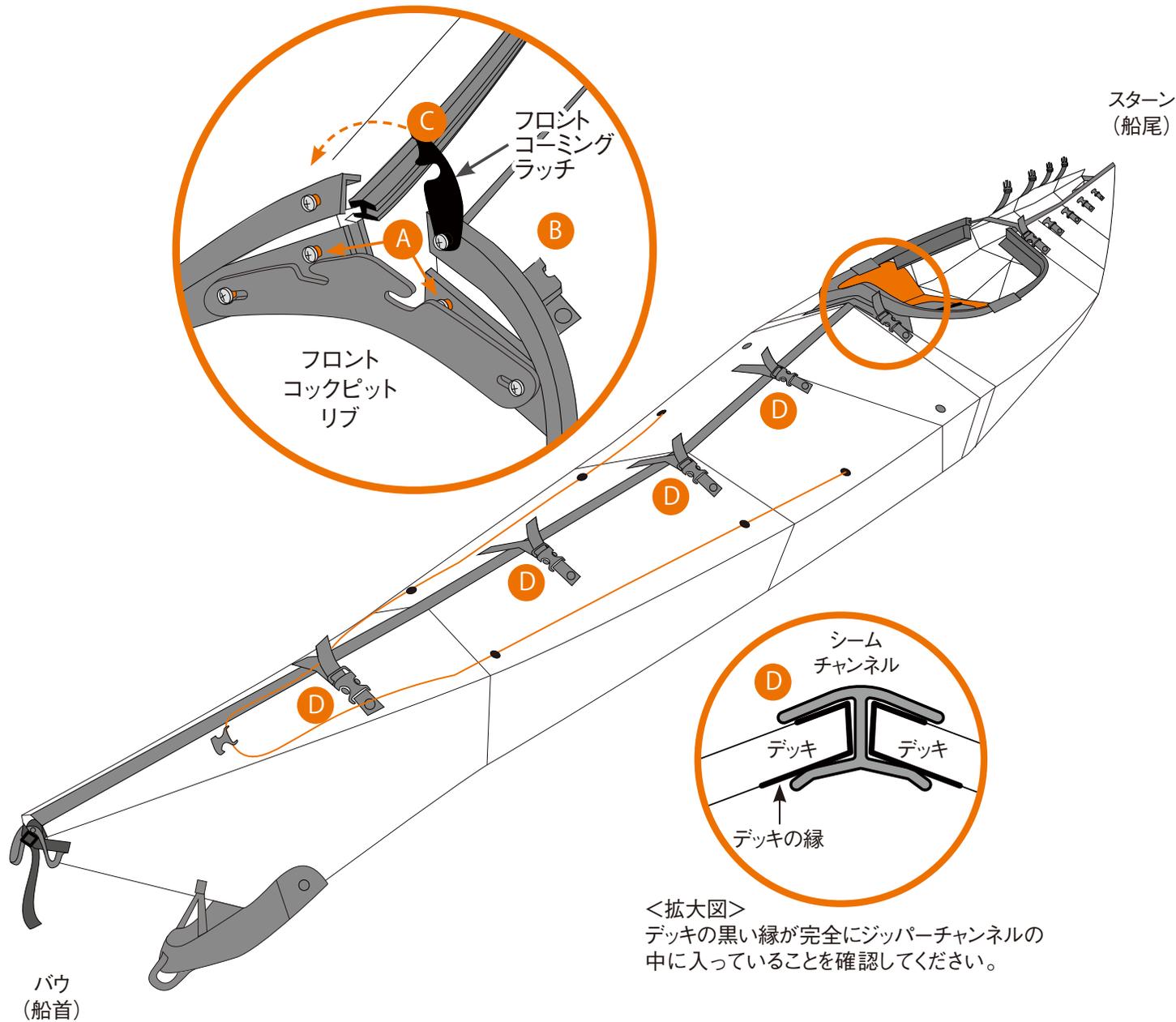
- C** フロアボードの中央を下に押さえ込みながら、ハンドルを回転させ固定します。ハンドルを完全に回転させると音がします。反対側も同様に固定します。(拡大図参照)



<拡大図>

ハンドルはコーミングの溝に入ります。図のように、コックピットハンドルを回してコーミングに固定します。

(8) コックピット前方を閉じる



- A** フロントコックピットのスロットにネジを合わせます。
- B** コックピット前側一つ目のデッキストラップを締め、ネジをフロントコックピットリブのスロットに挿し込みます。
- C** フロントコーミングラッチを閉じます。
- D** コックピットから船首に向かって、デッキ前方の残り4つのデッキストラップを締めていきます。

デッキ開口部の縁がジッパーチャンネルに完全にはまっていることを確認してください。

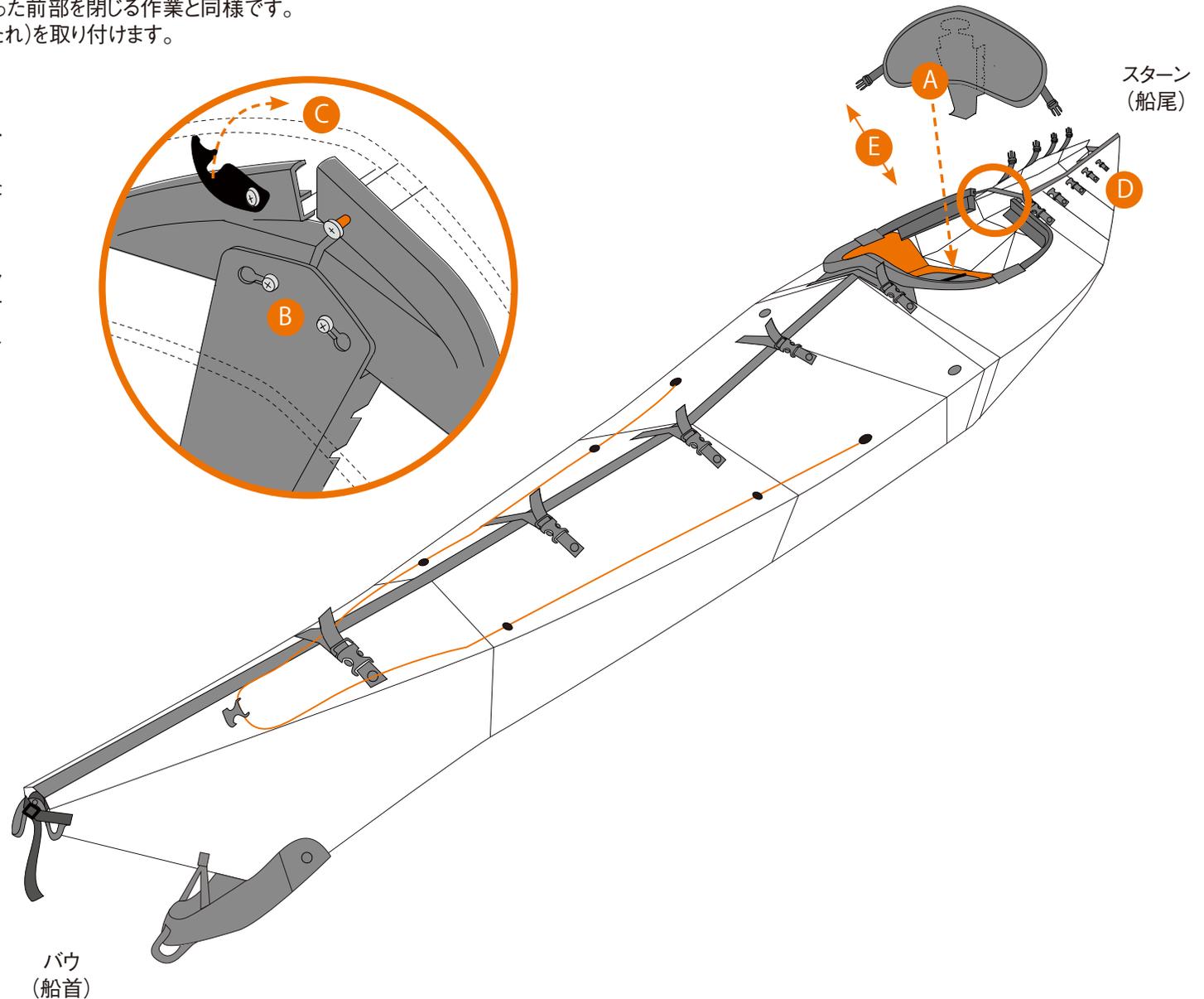
※各デッキストラップを引っ張る時に、ジッパーチャンネルを下に押しと作業が楽になります。

<拡大図>
デッキの黒い縁が完全にジッパーチャンネルの中に入っていることを確認してください。

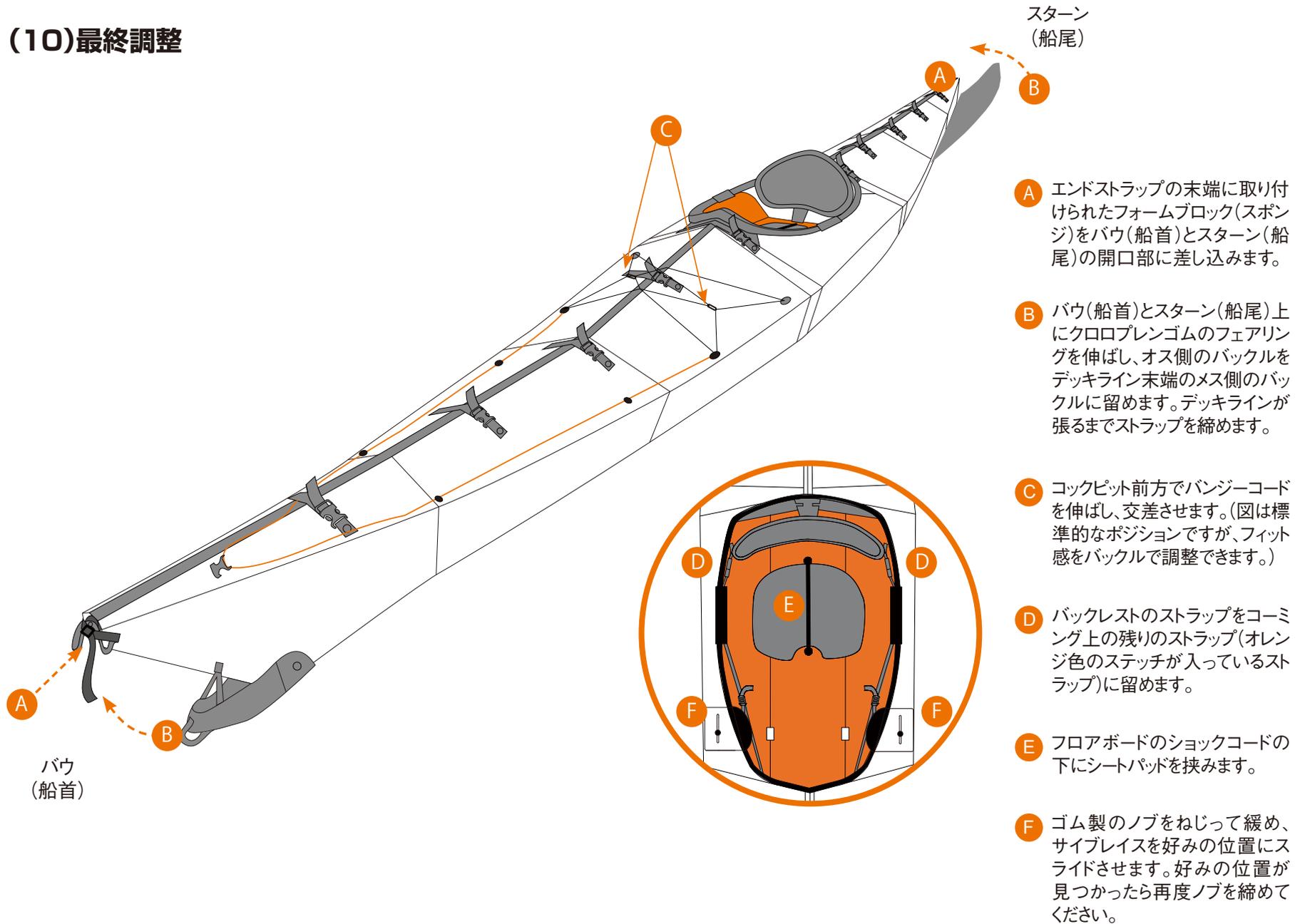
(9) バックレストの取り付け

コックピット後部を閉じる作業は、P14で行った前部を閉じる作業と同様です。
コックピット後部を支えるバックレスト(背もたれ)を取り付けます。

- A フロアボード(床板)にあるバックレストプレートにバックレストを差し込みます。バックレストを所定の位置に固定するために上方に傾けます。
- B デッキ下の2箇所のネジの上にバックレストコラムのキーホールを置きます(拡大図参照)。ネジをスロットに挿入して所定の位置に固定します。
- C コックピットラッチを閉じます。
- D P14のように、後部デッキバックルを船尾の方から留めていきます。
- E バックレスト両側のストラップをコーミングのバックルに留めます。

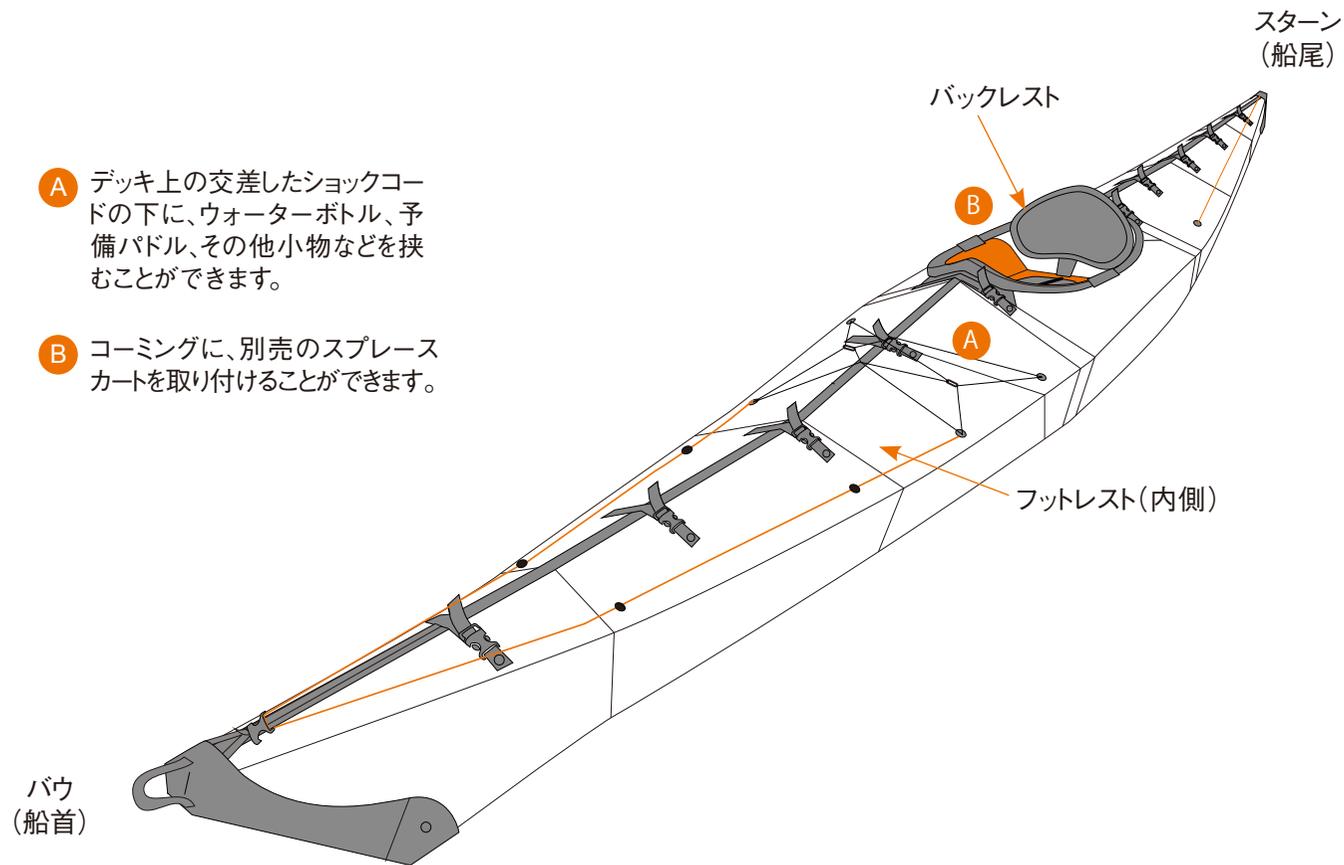


(10)最終調整



バックレスト:カヤックに入る前に、バックレストを調節してください。
腰を支えるため、ショックコードを上下に動かし調節します。

フットレスト:カヤックに入ったら、フットレストを調節してください。
座った状態で、デッキ真下の左右前方にあるバックルを緩めたり引き締めたりして、フットレストの位置を調節します。
フットレストは、膝を外側に広げても、足を楽に曲げられる位置になるよう設置します。



組み立て チェックリスト

- バウ (船首) とスターン (船尾) のストラップがしっかりと締められていて、先端がフェアリングで覆われているか。
- シームチャンネルがきちんと締められ、下にデッキの縁が見えていないか。
- 10箇所すべてのバックルがしっかりと留められているか。
- コーミングはコックピットの前後で固定されているか。
- 両サイドのコックピットのハンドルはコーミングに固定されているか。

収納方法

収納方法は組み立ての逆の手順ですが、一部異なる点があります。すばやく簡単に収納するために、以下の手順で収納してください。



- ① フェアリングを外し、船首と船尾のエンドストラップを完全に緩めます(写真参照)。フォームブロック(スポンジ)を取り外します。



- ② デッキのバンジーコード、10個のバックルを取り外します。(次回の組み立てを簡単にするために、ここでそれぞれのバックルを完全にゆるめてください。)



- ③ コーミングラッチを開き、コーミングを引き外しながら、バックレストを取り外します。



- ④ ⚠️ 重要: 4本の着脱式シームチャンネルを取りはずします。

最初は、収納するのが硬くて難しいかもしれませんが、何度か使用すると収納しやすくなります。ショルダーストラップは、短距離移動の際に本製品を運ぶのに便利です。

※水がプラスチックのひだに溜まる場合があります。溜まった水を出すには、⑥に進む前に組み立てた状態のカヤックを約10分間垂直に立ててください。



5 2つのスターン側バルクヘッドを取り外します。更にフットレストバックルを外してバウ側のバルクヘッドを取り外します。



6 写真のようにフロアボードのセンターを引き上げながら取り外します。



取り外し可能なパーツをすべて外したら、広げたハルにある斜め方向の折り目を見つけてください。(写真点線参照)次に、黒とオレンジの矢印と的を見つけてください。次のステップでは、これらを目印として、アコーディオンのようにバウとスターンをカヤックの内側に折り込みます。



7 取り外し可能なパーツをすべて取り外したら、片側の端を写真のようにV字になるよう内側に折り込みます。



8 2つ目の折り目を、アコーディオンのように押し込みながら折ります。(この工程が正しければ、デッキラインが引っ張られることはありません。)



9 アコーディオン状に畳んだ両端を、互いにスライドさせながら、中央に向かって折り畳みます。オレンジの的に向かってオレンジの矢印を合わせ、黒の的に向かって黒い矢印を合わせます。



10 それぞれの矢印が的に当たるまで、ねじる動きを加えながら押し続けます。

折りたたんだ本体を収納する



- 11 ボックスを押し込みながら、両サイドの外側のデッキバックルを留めます。(まだ締めないでください。)



- 12 取り外したパーツや、その他ギアを本体に入れ、蓋をするようにフロアボードを被せます。



- 13 写真のようにショルダーストラップのループをボックスの上に置き、締めます。



- 14 完成。

カヤックのお手入れ方法

- 毎使用前にカヤックを点検し、損傷がないこと、すべてのファスナーがきつく締まることを確認してください。
- 毎使用後は、きれいな真水でカヤックを洗い流してください。海水で使用した後は特にきれいな真水で洗い流してください。
- 使用後にカヤック本体の内部に水が溜まっていないか注意してください。
- 水がプラスチックのひだ状の中に溜まる場合があります。開いた状態のカヤックを上下逆さまにして排水させます。
- 更にクリーニングを行うには、汎用クリーニングスプレーを使用し、柔らかい布またはスポンジで拭いてください。